

近畿ブロック搬出技術講習会

ハイキング部門報告

平成 30 年 4 月 1 日 救助隊 松芳健一

ハイキング中の事故の対応と搬出を主な目的とし、セルフレスキューを会員みんなが身につくように、兵庫県連主催で、約 180 数名(大阪府連は、70 名)の参加で実施されました。



午前中は、応急手当のデモ、搬出デモ、山筋ゴーゴー体操、午後は 14 班に分かれての搬出実技訓練、ロープテストというプログラムでした。

私達大阪府連スタッフは、午後の搬出実技訓練を担当し、搬出方法として短い移動のドラッグ法、二人で運ぶつり上げ法、3 人で運ぶヒューマンチェーンの方法、ザック 3 個連結担架等を指導しました。それぞれの特徴を説明しながら実際に体験して頂いたのですが、「ザック3個連結担架が、怪我人の意識が無い場合に有効で、運びやすい」と高い評価でした。ストック足掛けザック搬出では、皆さん一番真剣に学んでいるようでした。背負い役の交代時が難しいみたいでしたが、「重い人でも比較的楽に搬送出来る」や「長距離移動も可能」という声がありました。

今回スタッフとして参加でしたが、私達が普段使っている用語が理解できず、簡単に説明するスキル(ロープワーク等)が必要である。また丁寧なデモや説明も重要ですが、とにかく体験してもらおう事の方が学びが多いように感じました。